



# フッ素樹脂 コーティング技術を 多分野へ



## 日本フッソ工業株式会社

### 世界初の帯電防止仕様「ECシリーズ」

様々な製品を生産する機器には、付着や腐食、溶出等を防ぐための表面処理技術が必要となる。非粘性、耐食性、高純度性に優れたフッ素樹脂はこれまでもいろいろな産業界において活躍してきた。ものづくりの過程において多用される有機溶剤についても、同じである。

しかしながら、通常のフッ素樹脂コーティングでは、その高い絶縁特性が故に帯電しやすく、静電気障害の要因となり、有機溶剤を使用する製造プロセスでは爆発事故発生の可能性が常に付きまとう。

この危険性を取り除いた世界初の帯電防止仕様コーティング「ECシリーズ」を開発したのが日本フッソ工業である。「ECシリーズ」は磁気塗料メーカーや印刷関連企業等多分野で活用され、ベストセラーを記録。新たな市場を生み出すまでに至り、今なお国内最大シェアを誇る。

同シリーズを応用させた技術が、液晶パネルの製造過程で発生する剥離帯電による製品の破損という課題を解決する「剥離帯電防止コーティング」である。国内最大の液晶製造工場を初めとして世界各国の液晶メーカーで採用され、不良率の低減により、コスト競争力強化に貢献している。

平成16年には業界の発展に最も寄与した発明を表彰する「ADY賞」を受賞。いわゆる「有名大企業」と並んで、中小企業にあたる同社が受賞したことは、まさしく快挙であった。

### 耐食性を飛躍的に向上 厚膜焼付けコーティング技術

「ライニング」とは耐食を目的とした、厚みを出すコーティングのこと。腐食性の強い薬品を使う場合、機材を守るために厚膜のコーティングが求められるのだが、そのためには焼付けを繰り返す必要があり、そこには熱履歴によるフッ素樹脂の劣化問題があった。この課題を解決するために同社が開発した技術が「リチルライニング」。被塗物の内面にフッ素樹脂を投入し、三次元的な回転焼成を施すことで、少数回での厚膜ライニングを可能としたのだ。

その効果は施工時間を大幅に短縮させたばかりではない。焼付けを重ねる方法では対応できる被塗物の形状に限界があったのだが、リチルライニングでは複雑形状へのコーティングも可能にしている。

豊岡社長は語る。「当社の商品は

『お客様の課題を見つけ出し、解決すること』そのものです。解決方法が見つかれば関連産業の発展に貢献でき、同じ課題を持つ他企業に提供することで顧客獲得にもつながります。

他社との競合だけにとらわれることなく、顧客の要望を最優先した研究開発によって新しい技術を生み出し、「唯一」の「先駆」であり続ける。

日本フッソ工業株式会社

Company Profile

住所 / 〒587-0042  
大阪府堺市美原区木材通2-4-6  
創業 / 昭和39年5月  
設立 / 昭和41年11月  
資本金 / 3,500万円  
従業員 / 110名 (平成21年1月現在)  
TEL / 072-361-3391  
FAX / 072-363-1230

ISO 9001  
ISO 14001

<http://www.nipponfusso.com/>



豊岡 敬さん  
代表取締役

### 主な事業内容

フッ素樹脂焼付けコーティング、ライニング業務、コーティング、ライニング機材のエンジニアリング業務等